

2017(平成 29)年度 日本獣医がん学会 第 4 回理事会

日時：2018(平成 30)年 1 月 28 日 (日) 12:40-13:40

場所：ニューオータニ大阪 B1 コスモス

次第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事録署名人の任命

4. 議事

- ①第 1 号議案：各委員会報告 資料 1、2
- ②第 2 号議案：渉外・広報報告
- ③第 3 号議案：2018(平成 30)年度事業計画 資料 3
- ④第 4 号議案：次期理事・社員改選方法に関して 資料 4
- ⑤第 5 号議案：社員欠員分の追加に関して 資料 5
- ⑥その他

5. 報告事項

- ①現在の学会組織
- ②その他

6. 閉会

5. 議事

①第 1 号議案：各委員会報告（資料 1）

学会企画委員会：武信 行紀 担当理事

学会雑誌編集委員会：藤田 道郎 担当理事

認定医認定委員会：皆上 大吾 担当理事

専門医制度実行委員会：佐藤 敏彦 担当理事

JONCOL 編集委員会：井上 明 担当理事

WVCC・国際情報委員会：小林 哲也 担当理事

外科委員会：浅野 和之 担当理事

放射線療法委員会：金井 詠一 担当理事

内科委員会：高橋 雅 担当理事

病理委員会：児玉 和仁 担当理事

②渉外・広報報告

渉外・広報担当：川野 悦生 理事

①第1号議案：認定委員会報告

各種試験結果報告

実施日：2017年10月8日（日）

会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F

I種一次（資料2-1）

出願者数 35名 受験者数 33名

試験：診断学・治療学各3問合計6問 600点満点

合格基準：すべての問題で平均点以上 **地雷問題を踏まない**

よって合格者は6名（18%）といたしました。

I種二次

結果と判定基準

平均点：225.11点

平均点+1SD（標準偏差）：248.28点

平均点+1/2SD（標準偏差）：236.70点

例年の合格基準である平均点+1SDの該当者は上位3名であった。合格適合者として上位3名について審議された。

合格候補者3名についての総評

- ・1位と3位の先生は平均して出来ていたというより、得意分野と思われる部屋で高得点である一方で、平均以下の部屋もあった。しかし2者とも、いずれの部屋でも出来ていないという悪い印象はなかった。
- ・2位の先生は比較的どの部屋でも安定した得点であったが、NGを2回踏んでしまったこと、またNG以外でも、部屋によっては合格者として答えるべき内容が答えられなかった。

最終決議

上記総評の理由により全員一致で1位と3位の2名を暫定合格者とした。

II種（資料2-2）

受験者数：211名

最高得点：703.7点（800点満点）

最低得点：221.4点（800点満点）

平均得点：560.2点（800点満点）

標準偏差：90.2点

平均+1標準偏差：650.4点

●合否審議および採決

平均点+1標準偏差かつ地雷問題該当なしを基準とした。

合格率：23/211名、10.9%

③第3号議案：2018(平成30)年度事業計画(資料3)

法人化に伴い事業計画、予算案の審議などの手順が変わっている。新しい手順では、次年度開始の前日までに事業計画書(会長作成)を理事会で承認を取り、収支報告や予算案は新年度の理事会(6月初旬にメール審議)、社員総会(7月学会)で審議を行う。

(1)学会

①第19回(メインテーマ：犬の鼻腔腫瘍)

2018年7月7,8日 東京都 東京コンベンションホール

②第20回(メインテーマ：犬の肥満細胞腫)

2019年1月26,27日 大阪府 ホテルニューオータニ大阪

(2)学会雑誌発行(年4号)

(3)JONCOL監修(年2号)、年1号は会員へ電子書籍配布、もう一号は会員へ割引特典あり。

(4)獣医腫瘍科認定医認定試験(1種一次、1種二次、2種合同試験)

2018(平成30)年10月8日(祝・月) ベルサール新宿グランド

資料 4

5. 議事

④第 4 号議案：社員欠員分の追加に関して

社員選定に関する規定

定款第 6 条

2 当法人の社員は、正会員数のうち 50 名の割合をもって選出される代議員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という。)上の社員とする。

3 代議員は、正会員の中から代議員選挙により選出される代議員(以下、「選挙選出代議員」という。)と理事会推薦により社員総会で選出される代議員(以下、「総会選出代議員」という。)とに区分する。なお、代議員選出について必要な細則は理事会において別に定める。

代議員選挙細則

(欠者の補充)

第 15 条 選挙選出代議員に欠員を生じたときは、会長は理事会の決議を経て、次点者を代議員として補充することができる。

現在、代議員は 48 名(選挙選出 37 名、総会選出 11 名)であり 2 名の欠者がいるが、選挙の次点者以降が社員就任を辞退している。そこで、以下 2 名を会長より推薦する。

廉澤剛(酪農学園大学)

南毅生(南動物病院グループ)

資料 5

5. 議事

⑤第 5 号議案：次期理事 ・ 社員改選方法に関して

補足情報

前回の理事改選：設立時理事 2 3 名→改選後は 1 5-2 0 名と定款に明記
理事会において理事選挙規定

次期改選スケジュール

2018年7月：定時社員総会で理事改選方法決議

2016年 6 月 2 6 日：2016年度定時社員総会で代議員（社員）選挙細則決議

2018年11月：理事選挙実施

（公示11月1日、立候補受け付け11月1-8日、投票期間11月15-29日）

2019年 1 月：理事会で次期理事名簿決定（総会選出理事の選任審議含む）

2019年 5 ～ 6 月：社員選挙実施

（被選挙権は全会員、定員 5 0 名

公示 5 月 8 日、立候補受け付け5月8-15日、投票期間5月22日-6月5日）

2019年 7 月学会定時社員総会で社員改選し、新社員で新理事名簿承認

→当日別室で新理事会開催：会長選出

★平成29年度 日本獣医がん学会 第4回理事会

日時：平成30年1月28日（日） 12:45-13:40

場所：ニューオータニ大阪 B1 コスモス

出席者（敬称略）：理事12名：藤田道郎・杉山大樹・川野悦生、武信行紀、浅野和之、皆上大吾、井上明、児玉和仁、小林哲也、佐藤敏彦、高木 哲、中川貴之、

監事2名：三宅龍二、水上浩一

欠席6名：石田卓夫、川村裕子、信田卓男、辻本 元、細谷謙次、堀 英也

議事録署名人：武信行紀・皆上大吾

1. 開会

2. 会長挨拶

会長は所用で不在のため、副会長 藤田先生が挨拶した。

第18回テーマは免疫療法で現時点では、参加人数573名、ほぼ例年通りの参加者数で好評に開催できている。企画委員会やゲストスピーカー、各委員会の先生方の多大な尽力のおかげと感謝している。

3. 議事録署名人の任命

4. 議事

①第1号議案：各委員会報告（資料1、2）

報告事項および2018年度事業計画を説明した。

・学会企画委員会：武信 行紀 担当理事

第19回学会 2018年7月7、8日、東京開催、メインテーマ：犬の鼻腔腫瘍

第20回学会 2019年1月26、27日、大阪開催、メインテーマ：肥満細胞腫

演者等の大枠は検討したが、内容は今回（第18回）学会にてアンケートを配布・回収して参考に検討していく予定である。

・学会雑誌編集委員会：藤田 道郎 担当理事

2017年は1書誌（短報2本）で学会雑誌をJ-Stageにて発行をした。2018年は2～3書誌を発刊できるよう推進している。

投稿規程が紙媒体を想定した規程となっており、J-Stageの電子ジャーナルに対応した規程の見直しを検討しており、7月学会の理事会での検討と社員総会での承認を目指して委員会にて詳細を検討する。

・認定医認定委員会：皆上 大吾 担当理事

1) 2017年度認定医試験を下記のとおり行った。

実施日：2017年10月8日（日）

会 場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター 5F

I 種一次

出願者数 35 名、受験者数 33 名、試験：診断学・治療学各 3 問合計 6 問 600 点満点

合格者：6 名 (18%)

I 種二次

受験者数 18 名、平均点：225.11 点、平均点+1SD (標準偏差)。合格者 2 名 (合格率 11.1%)

委員会の全員一致で 2 名を暫定合格者とした。

II 種 (資料 2-2)

受験者数：211 名

最高得点：703.7 点 (800 点満点)、最低得点：221.4 点 (800 点満点)、平均得点：560.2 点 (800 点満点)

標準偏差：90.2 点、平均+1 標準偏差：650.4 点

合格率：23/211 名、10.9%

以上、1 種一次、二次、2 種認定医試験結果を承認した。

2) 認定医手帳改訂

残部僅少につき、増刷の必要があり。記載する内容を検討してみるとガイドラインが実際のものとなっているため、学会が制作した「腫瘍学テキスト」の項目を新ガイドラインとして制定し、今後の改正を考慮して、ホームページに記載する方向で作成に進んでいる。

3) 認定医委員会の担当任命について

委員長 皆上大吾、副委員長 杉山大樹、1 種担当 武田晴央、2 種担当 古川敬之を任命したことを報告する。

4) 腫瘍学テキストの増刷

残部僅少につき、増刷の際に内容の充実を計るため、2019 年夏頃を目途に改訂版を発行する。

以上について承認した。

・専門医制度実行委員会：佐藤 敏彦 担当理事

報告事項なし。

・JONCOL 編集委員会：井上 明 担当理事

No. 24 を 2018 年 1 月 (第 18 回) に合わせて発行された。次回 (No. 25) は第 18 回学会プログラムから企画構成をし、2019 年 1 月発刊予定である。

・WVCC・国際情報委員会：小林 哲也 担当理事

2020年3月19～22日（4日間）、東京都（東京コンベンションホール）にて開催予定

WVCC委員には、小林の他、辻本、石田、細谷、賀川、杉山に加え、小林の病院（日本動物がんセンター）スタッフ3名に加えて、比較的英語が堪能であろう外資系企業所属の3名で結成した。今後、実行委員を配置したいと考えている。

開催にあたり、情報開示をするホームページの作成を急務とし、2019年10月に行われる米国のVCSにて東京での世界大会をアピールする打診をする。

また、参加者の主なターゲットはアジア（タイ・韓国・中国・台湾等）200名参加を目標値としている。

講演者は米国の方々が内諾段階では了承の意志を得ており、レジェンド系と現在最も活躍している2つのパートに分けて合計8名程度をキーノートスピーカーとして招聘を考案中である。

事前登録方法などは、他学会の動向も参考にシステムを一から作る方法ではない手法で予算を掛けないよう試みている。

・外科委員会：浅野 和之 担当理事

委員が多忙を理由に2名辞退された。1名新規で加入した。

第19回学会では教育講演 腹腔内の外科解剖、2019年第20回学会では教育講演 皮弁の基本をテーマにした。また、第20回外科系シンポジウムは意見交換を進め、今後もメール会議にて検討する。

また、今後、動画を使用した教育講演も企画したいとの意見が上がっている。

・放射線療法委員会：金井 詠一 担当理事

委員会開催をしていない。次回（第19回）学会のメインテーマが「鼻腔腫瘍」であるので委員長を中心に近日中にメール会議で意見聴取して企画構築を行う予定である。

・内科委員会：高橋 雅 担当理事

次回（第19回）学会ではシンポジウムおよび教育講演の企画考案を担当する。シンポジウムテーマ案はオンコロジックエマージェンシーとして、治療・化学療法などに伴う有害事象の対応と予防について数施設のパネリストに、レビューとディスカッションというような形で行う予定である。また、犬種別のよくある腫瘍の教育講演を演者検討してゆく。

・病理委員会：児玉 和仁 担当理事

次回（第19回）学会のメインテーマ 鼻腔内腫瘍のコメンテーターを検討しているが本日の委員会出席者が少なかったため、継続している教育講演と併せてメール会議で人選をする予定である。

なお、病理のシンポジウムの企画をと企画委員会から打診がありましたが、病理独自で展開するのは人気がないだろうとのことで、内科・外科とのコラボレーションでの検討をしていく。

② 渉外・広報報告 渉外・広報担当：川野 悦生 理事

日本獣医学専門奨学金基金スポンサー説明会 欠席で返信した。

本学会後援 第 160 回 JAHA 国際セミナー テーマ：インターベンショナルラジオロジー

大阪会場：2018 年 1 月 19～21 日、東京会場：1 月 23～25 日の事前登録を本学会には JAHA 会員と同様の特別価格が適用されることをメール配信にて会員に告知した。

③ 第 3 号議案：2018（平成 30）年度事業計画（資料 3）

承認された。

④ 第 4 号議案：社員欠員分の追加に関して（資料 4）

社員定員 50 名に現在 48 名が就任しており、次点 2 名が辞退したため、廉澤 剛（酪農学園大学）、南 毅生（南動物病院グループ）の 2 名を会長が推薦し、代議員就任を承認した。

2018 年 7 月社員総会にて審議する。

⑤ 第 5 号議案：次期理事・社員改選方法に関して（資料 5）

1) 理事改選方法

理事および社員の改正は 2 年と定款に定めている。理事改選方法が承認されたら、2018 年 7 月総会にて審議を受けて承認されれば同年 11 月に理事選挙実施（公示 11 月 1 日、立候補受付 11 月 1～8 日、投票期間 11 月 15～29 日）を予定している。

理事は定款で 15～20 名となっており、立候補を募り、15 名以内であればそのまま決定、16 名以上の場合は選挙を行い 15 名に絞る案を考えている。

<ご意見>

- ・業務執行理事や委員会があるが稼働していない委員会もあるので、その点も絞り込んだらどうか？
- ・やはり立候補は必要と思う。

以上について、承認された。

2) 社員改選方法

社員選挙は定款通り 2019 (H31) 年 5～6 月に実施するが、細則の不備があったため、変更案を審議頂きたい。

選挙選出で 40 名の代議員を決めるとあるが、現実には人数が満たなかった。

<変更案>

立候補者が 40 名に満たない場合は、その方について全員当選とし、選挙・信任投票は行わない。また、40 名に満たない分については会長推薦枠として、理事会の承認により決定する。

上記一文を追加することの審議をし、承認された。

⑥その他

1) 学会開催スケジュール

WVCC 東京開催（2020年3月）は通常、毎年1月に行っていた学会を3月にして第22回学会に相当するため、第23回は通常であれば東京開催となるが、ホテルニューオータニ大阪を今後も1年に一度継続的に利用すること、東京オリンピック開催時期の関係で会場やホテルの確保、費用も恐らく2～3倍になり、諸々の条件が非常に困難である。ニューオータニ大阪の空き状況を確認したところ、7月～8月中旬に空きはなく、8月後半で調整してもらえるか伺い中である。理事の先生方の大学行事等の都合を勘案して、第一候補として2020年8月29、30日、第二候補は8月22、23日を大阪開催とする。

以上について審議し、承認された。

<参考：学会開催予定>

第19回	2018年7月	東京
第20回	2019年1月	大阪
第21回	2019年7月	東京
第22回	2020年3月	東京 (WVCC)
第23回	2020年7月	大阪
第24回	2021年1月	大阪
第25日	2021年7月	東京
第26回	2022年1月	大阪
第25日	2022年7月	東京
第26回	2023年1月	大阪

2) 信田卓男先生を名誉会員に推挙する件

2018年1月23日に会長および事務局宛てに理事退任届および退会届が提出された。石田会長から理事はどうしてもというご意思があるのであれば仕方がないが、退会届は取り下げて頂き、理事会として名誉会員に推挙したい意向である。名誉会員は「学会の多大なる貢献をしていただいた会員」と規程されているだけで、それ以上の詳細に明記がない。2018年7月総会にて名誉会員への推挙することについて審議頂きたい。

<ご意見>

・退会の理由をご本人から直接お伺いしてないので分りかねるが、がん研究会を立ち上げ、会長を歴任され、ここまで学会を牽引された先生なので、日本獣医がん学会から名誉会員にぜひ推挙すべきだと思う。

・創成期から矢面に立って研究会、そして学会をここまで大きくしたのは、信田先生の尽力がなかったら恐らくできなかつたろうと思う。名誉会員として、引き続き学会にご助言を頂ければ有難いと思う。

- ・理事全員の総意をお伝えする。

以上について、承認された。

5. 報告事項

①現在の学会組織

委員会組織の再確認をした。

委員会組織について：委員長に関しては、委員長も委員も会長指名であること。新しく会長が選出された場合、会長が新たに委員長を指名するのであれば、その時点で変更となり、指名が無ければ、そのまま継続となる。委員長は委員に継続の意思を確認していただく必要はあるが、新たな委員を検討した場合は、各委員会委員長が内諾を得てから、会長にその意志を伝える。委員の辞任は委員長が受取り、会長(実質的には事務局)に報告し、会長の判断により決定される。なお、委嘱状は要望があれば事務局から発行する。

②その他

なし。

6. 閉会

資料 1

5. 議事

①第 1 号議案：各委員会報告

学会企画委員会	: 武信 行紀 担当理事
学会雑誌編集委員会	: 藤田 道郎 担当理事
認定医認定委員会	: 皆上 大吾 担当理事
専門医制度実行委員会	: 佐藤 敏彦 担当理事
JONCOL 編集委員会	: 井上 明 担当理事
WVCC・国際情報委員会	: 小林 哲也 担当理事
外科委員会	: 浅野 和之 担当理事
放射線療法委員会	: 金井 詠一 担当理事
内科委員会	: 高橋 雅 担当理事
病理委員会	: 児玉 和仁 担当理事

②涉外・広報報告

涉外・広報担当	: 川野 悦生 理事
---------	------------

資料 2-1

5. 議事

①第 1 号議案：認定委員会報告

各種試験結果報告

実施日： 2017 年 10 月 8 日（日）

会場： ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター 5F

I 種一次

出願者数 35 名

受験者数 33 名

試験：診断学・治療学各 3 問合計 6 問 600 点満点

合格基準：すべての問題で平均点以上 地雷問題を踏まない

よって合格者は 6 名（18%）といたしました。

I 種二次

結果と判定基準

平均点：225.11 点

平均点+1SD（標準偏差）：248.28 点

平均点+1/2SD（標準偏差）：236.70 点

例年の合格基準である平均点+1SD の該当者は上位 3 名であった。合格適合者として上位 3 名について審議された。

合格候補者 3 名についての総評

- ・1 位と 3 位の先生は平均してできていたというより、得意分野と思われる部屋で高得点である一方で、平均以下の部屋もあった。しかし 2 者とも、いずれの部屋でも出来ていないという悪い印象はなかった。
- ・2 位の先生は比較的どの部屋でも安定した得点であったが、NG を 2 回踏んでしまったこと、また NG 以外でも、部屋によっては合格者として答えるべき内容が答えられなかった。

最終決議

上記総評の理由により全員一致で 1 位と 3 位の 2 名を暫定合格者とした。

資料 2-2

II 種

受験者数：211 名

最高得点：703.7 点（800 点満点）

最低得点：221.4 点（800 点満点）

平均得点：560.2 点（800 点満点）

標準偏差：90.2 点

平均+1 標準偏差：650.4 点

●合否審議および採決

平均点+1 標準偏差かつ地雷問題該当なしを基準とした。

合格率：23/211 名、10.9%

資料3

5. 議事

③第3号議案：平成29年度事業計画

法人化に伴い事業計画、予算案の審議などの手順が変わっている。新しい手順では、次年度開始の前日までに事業計画書（会長作成）を理事会で承認を取り、収支報告や予算案は新年度の理事会（6月初旬にメール審議）、社員総会（7月学会）で審議を行う。

（1）学会

①第19回（メインテーマ：犬の鼻腔腫瘍）

2018年7月7,8日 東京コンベンションホール

②第20回（メインテーマ：犬の肥満細胞腫）

2019年1月26,27日 大阪ニューオータニ

（2）学会雑誌発行（年4号）

（3）JONCOL 監修（年2号）、年1号は会員へ電子書籍配布、もう一号は会員へ割引特典あり

（4）獣医腫瘍科認定医認定試験（1種一次、1種二次、2種合同試験）

2018年10月8日（祝・月） ベルサール新宿グランド

資料 4

5. 議事

④第 4 号議案：社員欠員分の追加に関して

社員選定に関する規定

定款第 6 条

2 当法人の社員は、正会員数のうち 50 名の割合をもって選出される代議員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という。)上の社員とする。

3 代議員は、正会員の中から代議員選挙により選出される代議員(以下、「選挙選出代議員」という。)と理事会推薦により社員総会で選出される代議員(以下、「総会選出代議員」という。)とに区分する。なお、代議員選出について必要な細則は理事会において別に定める。

代議員選挙細則

(欠者の補充)

第 15 条 選挙選出代議員に欠員を生じたときは、会長は理事会の決議を経て、次点者を代議員として補充することができる。

現在、代議員は 48 名(選挙選出 37 名、総会選出 11 名)であり 2 名の欠者がいるが、選挙の次点者以降が社員就任を辞退している。そこで、以下 2 名を会長より推薦する。

廉澤剛(酪農学園大学)

南毅生(南動物病院グループ)

資料 5

5. 議事

⑤第 5 号議案：次期理事 ・ 社員改選方法に関して

補足情報

前回の理事改選：設立時理事 23 名→改選後は 15-20 名と定款に明記

理事会において理事選挙規定

次期改選スケジュール

2018年7月：定時社員総会で理事改選方法決議

2016年6月26日：2016年度定時社員総会で代議員（社員）選挙細則決議

2018年11月：理事選挙実施

（公示11月1日、立候補受け付け11月1-8日、投票期間11月15-29日）

2019年1月：理事会で次期理事名簿決定（総会選出理事の選任審議含む）

2019年5～6月：社員選挙実施

（被選挙権は全会員、定員50名

公示5月8日、立候補受け付け5月8-15日、投票期間5月22日-6月5日）

2019年7月学会定時社員総会で社員改選し、新社員で新理事名簿承認

→当日別室で新理事会開催：会長選出